

道の駅の次なる可能性を追求するシンポジウムです。

第5回

全国「道の駅」 シンポジウム in 弟子屈



参加無料!

日時 平成28年

10月12日(水)
14:00 ▶ 17:30

会場

釧路圏摩周
観光文化センター

(北海道川上郡弟子屈町摩周3丁目3番1号)

道内各地の道の駅の
グルメが楽しめます!

同時開催

10:00 ▶ 15:00

道の駅まつり
in 弟子屈

●土木学会 CPD プログラム[3.5単位]認定を受けています。

主催/全国「道の駅」連絡会、弟子屈町

共催/北海道開発局、北海道、北海道地区「道の駅」連絡会

後援/釧路市、釧路町村会、根室市、根室町村会、(一社)摩周湖観光協会、釧路観光連盟、(一社)みちえき摩周直売会、てしかがえこまち推進協議会、ツーリズムてしかが、弟子屈町商工会、摩周湖農業協同組合、弟子屈町振興公社、シーニックバイウェイ北海道推進協議会、(一社)シーニックバイウェイ支援センター、郵便局、NHK釧路放送局、HBC釧路放送局、STV釧路放送局、HTB釧路支社、UHB北海道文化放送、TVhテレビ北海道、FMくしろ、FMねむろ、FMはな、AIR-G'TIIM北海道、FMノースウェーブ、北海道新聞釧路支社、釧路新聞社、毎日新聞釧路支局、読売新聞釧路支局、朝日新聞釧路支局、日本経済新聞社釧路支局、産経新聞社札幌支局、北海道建設新聞社釧路支社、時事通信社釧路支局、共同通信社釧路支局



お問い合わせ

全国「道の駅」連絡会総会・シンポジウム
弟子屈町実行委員会 事務局担当: 山口、下谷、浜岡

〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号(弟子屈町役場観光工商課内)
TEL 015-482-2940 FAX 015-482-5669 E-mail masyuko1@masyuko.or.jp

道の駅は、未来の駅だ。

休憩や情報発信、地域連携の場、

さらに人を招きビジネスを生み出す拠点としても機能している道の駅。

その役割を再認識し、さらなる可能性を追求するためのシンポジウムです。

プログラム

13:00 総 会

- ◎挨拶 全国「道の駅」連絡会会長 岩手県遠野市長
- ◎来賓挨拶

14:00 シンポジウム

- ◎挨拶 北海道地区「道の駅」連絡会会長 北海道恵庭市長
- ◎来賓挨拶

- ◎講演 世界水準の観光地に向けた「道の駅」の活用(仮)
JTIC. SWISS代表(観光庁:観光カリスマ) 山田桂一郎氏

◎事例報告

- ①訪日外国人旅行者4,000万人時代の「道の駅」(仮)
進行/オフィス・ウスイ代表(観光庁:地域活性化伝道師) 白井純子氏
事例報告:道の駅「発酵の里こうざき」 千葉県神崎町
道の駅「ニセコビュープラザ」北海道ニセコ町

- ②災害時における「道の駅」の貢献(仮)
進行/北見工業大学 社会環境工学科教授 高橋 清氏
事例報告:熊本地震時の「道の駅」の活用 道の駅「竜北」 熊本県氷川町

16:40 総 括

17:20 大会宣言

17:30 閉 会

【基調講演】講演者 プロフィール



山田 桂一郎 氏

一 略 歴 一

1965年三重県津市生まれ。2005年に観光カリスマ(内閣府・国土交通省(観光庁)・農林水産省 認定):「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広めるカリスマ」として認定。

ヨーロッパを中心とした環境保全と世界各地における滞在プログラム・ツアー及び観光・集客交流の事業化、マーケティングを実施。

これらの経験を活かし、観光・地域振興に関する講演やセミナーの講師として全国各地から招聘されている。2011年には、週刊日経ビジネス誌において「次代を創る100人」の一人として選出された。

北海道弟子屈町では「てしかがえこまち推進協議会アドバイザー」としても活躍中。

■詳しい情報は、以下の公式ホームページをご覧ください。

●全国「道の駅」連絡会

<http://www.michi-no-eki.jp/>

●弟子屈町

<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

■新規申込・申込内容の変更のお問い合わせ先

●JTB北海道大会オペレーションセンター

メール: jtb_spktaikai@hkd.jtb.jp

T E L : 011-221-4800 (9:30~17:00)